

きたかみ未来創造会議

創造NEWS 2013 第1号

2013.8.7
第1回会議
成果の活かされ
方を確認する
の巻

8月7日（水）より平成25年度のきたかみ未来創造会議がスタートしました。

今年度も昨年度から引き続き、平成20年度～22年度に未来創造会議で検討した平成23年度から10年間の総合計画基本構想、同5年間の基本計画の進捗状況を評価し、改善案を検討します。

市民がつくった「目指すべきすがた」と「それをあらわす指標」「具体的な目標値」に向かってどのように推移しているかを4回にわたって検討します。

＜第1回会議の内容＞

平成25年度の第1回目は、「昨年度検討した内容がどのように活かされたか、今年検討する内容がどう活かされるかを共有する」「北上市の現状を把握し、次回以降の評価につなげる」「今年度の会議をどのようにしたいか、改善すべきことはないかを共有する」の3点を到達点としてスタートしました。

当日は、あいさつのあと、情報提供として、平成25年1月に施行された自治基本条例において、総合計画の計画策定、評価、改善での市民参画が具体的に位置づけられたことの紹介を行いました。

その後、「今年度も昨年度と同じグループでの検討ということもあり、1年ぶりの再会を分かち合おう」ということで、各メンバーの近況報告を行いました。

次に北上市より、昨年度の検討結果がどのように活用されたかについての情報提供です。昨年度の市民会議での各施策評価については、市の内部評価、市民意識調査の結果とあわせて、市の重点施策の決定、予算配分の方向性決定に活かされたことが説明されました。また、改善案については、指標、目標値の改善が未来会議の検討や外部評価での検討の中で行われたこと、取り組みの改善は、担当者への会議結果の提供や、今年度の改善案検討とあわせ、総合計画後期基本計画への反映を行うこと等が説明されました。

さらに、これらの改善によって、評価指標や目標値が変更している部分については、グループごとに市のサポーターからの具体的な説明をいただき、より深めました。

今回の最後は、これらの検討結果の活用、あるいは未来会議の進め方についての評価点、課題、改善案の検討を行い、全員で共有を行いました。

今回の結果をもとに、未来創造会議自体も評価、改善を重ねていきます。今年度もよろしくお願ひします。

＜次回の会議について＞

・次回会議は、施策の評価を行います。昨年度からさらに1年積み重ねた現状が市民が検討した目指すべき姿に近付いているか、この評価を行います。

平成25年8月21日（水）18：30～20：45

会場：市民交流プラザ※会場が第1回目と異なります。



グループごとに近況報告



検討結果の活用方法説明



今年度の進め方検討



全体での意見の共有

〇ふりかえりカード

- 会議の進め方について思いを述べられて良かった。
- 市の施策について、色々な意見が聞け考えることのできる貴重な体験です。
- お久しぶりね。あれから何年たったのかしら。少しは私も大人になったでしょう。また、みなさんと楽しく学んで行きたいと思います。
- 24年度から25年度へ「リバイス」ではなく、新たな視点で臨みたいと思います。
- みんな元気で会えてよかったです。資料の説明の仕方にもう少し工夫がほしい。数字の意味がわかれば、理解もしやすい。
- 昨年の会議の結果が反映されている（指標について）のを見て、うれしく思います。
- わずかな時間でしたが、他の班からの意見を見られて、新たな気づきが生まれて良かった。
- とても多くの方々の参加があってよかった。雰囲気もとてもよかった。チーム感がよく出ていた。ファシ、サポーターもとてもよかったです。次回からも楽しみです。
- 会議の進行方法より、実質の評価の時間を多く取って。
- 場所は広いところでの会議が良い。
- すべてを評価するには時間不足だと感じました（昨年）。何らかの基準で対象を絞り、掘り下げる観点を取り入れてみてはどうでしょうか。
- 事前教養資料の配布と本日の会議要点を熟知させること。
- グループ内での説明がうるさくて会話が聞こえない。
- 意見の多数参加を望みたい。会議以外の意見を聴取する方法を教えてください。
- 意見は、今日の「模造紙」に貼り込んだ。
- 去年の事を少し思い出してきた。自分の考えをもっとわかりやすく話せるようにしたい。
- 事務局の資料説明は、行を追って（示して）ゆっくりしてほしい。去年のことを思い出すのに時間がかかる。